

静岡県放射線技師西部地区会広報誌 Vol.65 2012.10

SEIBU TIPS

磐田市大久保 512-3 TEL (0538)38-5000 代表 寺田 理希

平成24年度 第一回西部地区会勉強会

日時 平成 24 年 6 月 30 日(土) 14:00~16:30

場所 浜松商工会議所 10 階会議室 B+C

浜松市中区東伊場 2-7-1 TEL 053-452-1111

第1回 放射線セミナー

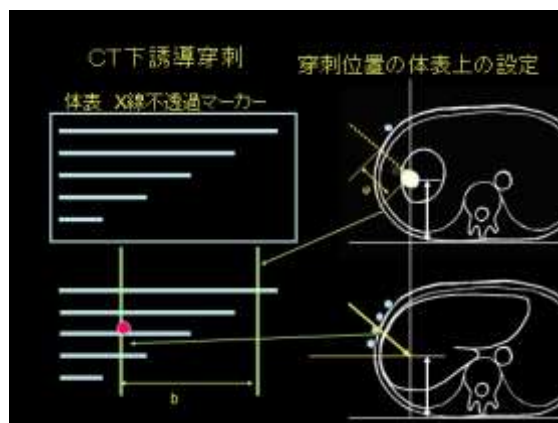
「肝臓疾患の診断から治療まで」

聖隷三方原病院
肝臓内科 坂西 康志 先生

今回の放射線セミナーは、聖隷三方原病院 肝臓内科 部長の坂西 康志 先生をお招きし、「肝臓疾患の診断から治療まで」というタイトルでご講演を頂きました。

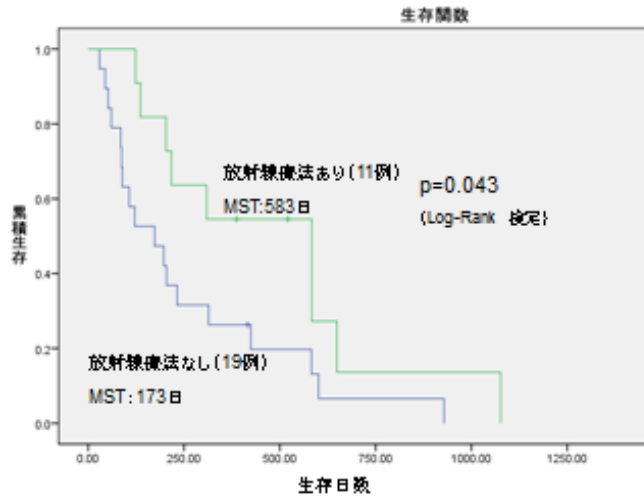


肝細胞癌の90%はウイルス性肝炎患者におこり、中でもC型肝炎の締める割合が72%というデータをもとに、上記の模式図等を用いて正常肝から肝炎→肝硬変→肝細胞癌に至る過程の説明がありました。



次に、肝細胞癌のRFA治療において、超音波ガイド下ではなく、CTガイド下で施行することの重要性についてご説明がありました。上記スライドに示されるようにCTガイド下でのRFAの施行によって、電極位置の精密な調整が可能であり、重要脈管や隣接臓器の損傷を避ける予防するうえでとても有利であるとのことでした。

リザーバー動注を行った脈管侵襲のある症例



放射線治療は生存期間を3倍に延ばした

最後に、放射線治療の成績に関してのご紹介がありました。「あくまでも当施設のデータですが・・・」ということでしたが、放射線治療は脈管浸潤や胆管閉塞のあるような肝細胞癌に対しても施行が可能であり、侵襲性の少ない治療という意味でも今後最も注目されるべき治療法であるとのことでした。他施設でも学会等の発表で同様の見解が得られているようです。

今回のご講演によって肝臓をご専門にされている先生ならではの患者の立場からみた画像撮影の留意点、医療従事者としての日頃の患者さんへの接し方等非常に勉強になりました。

坂西先生には改めて感謝申し上げます。

第1回 胃がん検診講習会

「症例から学ぶ基準撮影法すべきこと」

医療法人社団 綾和会 浜松南病院
放射線科 佐藤慎祐先生

NPO 日本消化器がん検診精度管理機構では、受診者が全国どこでもバリウムによる胃検診をやっても、ある一定以上の質を担保出来るよう基準撮影法を推奨した。この撮影法は、対策型胃検診を対象とした基準撮影法 1 と任意型胃検診を対象とした基準撮影法 2 から構成されている。

基準撮影法 1 は、以前より実施されていた新・胃 X 線撮影法(8 枚法)に準拠した構成となっている。基準撮影法 2 は基準撮影法 1 に食道造影、腹臥位二重造影第 2 斜位、半臥位二重造影第 2 斜位、立位圧迫を加えた 12 枚撮影である。撮影手順は、食道造影後に右回り 3 回転を行った後、背臥位正面位を撮影する。以後、1 撮影につき 1 回転(左右の交互変換)を加える方法で、胃 ML 領域後壁、胃前壁、胃 U 領域の順に手際よく撮影をする。また、本法は撮影体位や撮影手順を標準化するほかに、使用バリウム、バリウムの量、発泡剤の量、発泡剤の飲ませ方、圧迫フンの使用、鎮痙剤の使用、フィルムレイアウトまで標準化されたすぐれた撮影法である。本法をマスターすれば、胃全体を二重造影にて観察することが可能となった。

優れた撮影法があっても、ただ漠然と流れ作業の撮影では、病変を指摘(発見)できないことは、造影検査に携わった先生方なら感ずるところでしょう。我々の仕事は、検査中に病変を発見して、的確な追加撮影を行い、臨床医の診断補助となりうる画像と読影レポートを提出することである、と私は考える。では、上達するためにやるべきことは何だろうか？答えはたくさんの症例を経験することです。病変を発見するための手技や、質的診断を可能とするような画像の撮り方について症例より学びとることです。さらに、バリウム検査と内視鏡検査との対比や、バリウム検査と病理標本との対比なども、形態学を熟知するうえで大切な作業であると思っています。

しかしながら、1 人が経験する症例には限界があるのも事実です。ならば、学会、研究会、症例検討会に積極的に参加し症例を見る(診る)事が、上達への近道となり、経験を積むことになるかと思います。

そこで今回の講演では、可能な限り胃癌症例を供覧いたします。病変の場所、肉眼形態、深達度から、病変の描出を学び基準撮影法へフィードバックします。見落としのない検診をするための注意点や追加撮影について解説したいと思います。

▼勉強会の様子▼

第1回 放射線セミナー



第1回 胃がん検診講習会



レクリエーション

8月5日(日)竜ヶ岩洞フィッシュパークにて地区会恒例の鮎のつかみ取りが開催されました。参加人数 93 名(大人 66 名 小人 27 名)、天候にも恵まれました。

鮎を素手で捕まえたり、バーベキューをしたり、子供たちはもちろん、大人にとっても素敵な夏の思い出になったのではないのでしょうか。



企画から準備まで、レクリエーション委員長はじめスタッフの皆様
どうもお疲れ様でした！



浜松市友愛広場でのイベント

この度、西部地区会として H24 浜松市友愛広場に初めて参加しました。私達は、健康広場において無料骨密度測定、乳がん検診無料相談を行いました。当日は雨にも関わらず、無料骨密度測定に 202 名、乳がん検診無料相談に 26 名の方に参加していただき、盛況のうちに終わることができました。また、今回の活動に協力いただいた 17 名の地区会役員及び会員の方々には、深く感謝を申し上げます。今後も西部地区会として、このような啓発活動に継続的に参加していきたいと考えております。



平成24年度 第2回西部地区勉強会開催のご案内

静岡県放射線技師西部地区会
会長 寺田 理希

拝啓、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。この度、下記要領にて第2回西部地区勉強会を開催させて頂きたいと存じ上げます。

御多忙とは存じますが、万章繰り合わせの上、御出席下さいますよう御案内申し上げます。

敬具

記

日時 平成24年11月17日(土) 14:15～16:45
場所 浜松商工会議所 10階会議室 B+C
浜松市中区東伊場 2-7-1 TEL 053-452-1111

講演『Gd造影剤(プロハンスを中心に)の安全性に関する最近の情報について』

14:15～14:30

エーザイ株式会社
東海エリア 画像診断領域担当 市川篤 先生

第2回 地区会勉強会

講演『腹部単純写真 ひとつの見方 ー急性腹症の立場からー』

14:30～15:30

朝日大学歯学部附属村上記念病院
放射線科 教授 桐生拓司 先生

第2回 胃がん検診講習会


講演『浜松市胃がん検診の実態と今後』

15:45～16:45

幸田クリニック
院長 幸田隆彦 先生
共催 静岡県放射線技師西部地区会
(公社)静岡県放射線技師会
エーザイ株式会社

会員の動向


施設移動

氏名	異動前	異動後
 田地川 真弥	医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院	医療法人弘遠会 すずかけヘルスケアホスピタル


退会

氏名	施設名
 久 浩	菊川市家庭医療センター

新規入会

氏名	施設名	
	佐々木 浩二	磐田市立総合病院
	端 祐士	磐田市立総合病院
	下郷 智弘	磐田市立総合病院
	新聞 泰浩	磐田市立総合病院
	高城 正宏	磐田市立総合病院
	山田 鎌太郎	自宅

結婚おめでとうございます。

氏名	施設名
 三浦 祐揮	磐田市立総合病院

平成24年10月現在

行事予定

氏名	施設名
11月17日	第2回地区会勉強会

その他、行事予定が確定次第、随時お知らせ致します。

編集委員

落合義隆 三浦祐揮
名倉大樹 杉崎由美子
遠藤 嘉泰 渥美 雄介
内田千絵 江口幸民